

# デーヴォ ガイド



2024.2.26-3.3

BUT GROW IN THE GRACE AND KNOWLEDGE OF OUR  
LORD AND SAVIOR JESUS CHRIST. TO HIM BE  
GLORY BOTH NOW AND FOREVER! AMEN. II PETER

## LTG ガイド

- ① お互いへの感謝と誉めることを分かち合いましょう。(2~3つ)
- ② 1週間の罪を言い表して悔い改め、互いに祈りましょう。
- ③ 礼拝メッセージの分かち合いをします。  
礼拝メッセージの分かち合いが難しい場合はディポジションの分かち合い(なるべく短く)
- ④ 預言の祈り(主の御心を宣言して祈り)をします。

LTG Guide

## セル ガイド

- ① 祈り、賛美によって主がここにいてくださることを信じ、聖霊様をあがめます。
- ② 互いの存在を感謝し、尊敬するところを分かち合いましょう。
- ③ ディポジションの分かち合いをします。
- ④ セルの目的と働きについてみなで共有して、祈り、遣わされて行きましょう。

## 家族礼拝ガイド

年長のクリスチャンがリードしてください。進め方にはいろいろな意見が出るかもしれませんが、「主に期待する」信仰が最も大切です。いつもの家族でいいのです。

- ① この1週間で神様はすばらしいと感じたのはどんなこと?
- ② この1週間でお互いにどんなことを感謝しますか?(または誉めたいですか?) 1つだけ。
- ③ 聖書のみことばから、どんな実践をして、またどんな恵みがありましたか?
- ④ 互いの必要のために祈りましょう。

Cell Group Guide

## 礼拝メッセージフィードバック

今日の聖書箇所は…>

① 神のみこころは?(信仰のあり方、希望の約束、愛の満たしなど)

② どんな思いになりましたか?(感情や願いなど)

③ 生き方にどう適用しますか?(あなたのどの部分を主は扱おうとしておられますか)

④ この世にあって何を実践しますか?

Family Worship

2:1 「シオンで角笛を吹き鳴らし、わたしの聖なる山でときの声をあげよ。」地に住むすべての者は、恐れおののけ。【主】の日が来るからだ。その日は近い。

2:2 それは闇と暗闇の日。雲と暗黒の日。数が多く、力の強い民が、暁とともに山々の上に進んで来る。このようなことは、昔から起こったことがなく、これから後、代々の時代までも再び起こることはない。

2:3 彼らの前は火が焼き尽くし、うしろは炎がなめ尽くす。彼らが来る前は、この地はエデンの園のよう。しかし、去った後は、荒れ果てた荒野となる。これから逃れるものは何もない。

2:4 その姿は馬さながら、軍馬のように駆け巡る。

2:5 その音は戦車のきしり、山々の頂を飛び跳ねる。その音は刈り株を焼き尽くす火の炎、戦いの備えをした強い民のよう。

2:6 諸国の民はその前でもだえ苦しみ、顔はみな青ざめる。

2:7 それは勇士のように走り、戦士のように城壁をよじ登る。それぞれ自分の道を進み、進路を乱さない。

2:8 互いに押し合わず、それぞれ自分の大路を進む。投げ槍が降りかかっても、止まらない。

2:9 町に襲いかかり、城壁の上を走り、家々によじ登り、盗人のように窓から入り込む。

2:10 地はその前で震え、天も揺れる。太陽も月も暗くなり、星もその輝きを失う。

2:11 【主】はご自分の軍隊の先頭に立って声をあげられる。その陣営は非常に大きく、主

のことはを行う者は強い。【主】の日は偉大で、非常に恐ろしい。だれがこの日に耐えられるだろう。

2:12 「しかし、今でも——【主】のことは——心のすべてをもって、断食と涙と嘆きをもって、わたしのもとに帰れ。」

2:13 衣ではなく、あなたがたの心を引き裂け。あなたがたの神、【主】に立ち返れ。主は情け深く、あわれみ深い。怒るのに遅く、恵み豊かで、わざわざを思い直してくださる。

2:14 もしかすると、主が思い直してあわれみ、祝福を後に残しておいてくださるかもしれない。あなたがたの神、【主】への穀物と注ぎのささげ物を。

2:15 シオンで角笛を吹き鳴らせ。断食を布告し、きよめの集会を召集せよ。

2:16 民を集め、会衆を聖別せよ。老人たちを呼び集め、幼子と乳飲み子たちを集めよ。花婿を寝室から、花嫁を自分の部屋から呼び出せ。

2:17 神殿の玄関と祭壇の間で、【主】に仕える祭司たちは泣いてこう言え。「【主】よ、あなたの民にあわれみをかけてください。あなたのゆずりの地を、国々のそりの的、物笑いの種としないでください。諸国の民の間で、『彼らの神はどこにいるのか』と言わせておいてよいのでしょうか。」

イスラエルや諸国にとってのさばきは、戦争に負けることや国が荒廃することでしたが、やがて世の終わりのさばきがあることを聖書は明言しています。ここでの預言はスケールの大ききから言って、そのような終末を暗示するものです。

このように終末はさばきの苦しみが伴っている

ことを忘れてはなりません。主は義なるお方であり、さばき主です。何でもいい加減に人間の都合よくしてくれるのが神ではないのです。

そしてそのようなさばき主であるからこそ、その憐れみと救いの驚くべき価値が分るのです。私たちが救われたのは、また終末が希望であるのは、有り得ないほどの愛の神によってもたらされたのです。恐れおののいて、救われたこと、赦されたことを感謝しましょう。またその感謝を表しましょう。

すでにクリスチャンであつても、主から離れてしまった部分はないでしょうか。それを認めて、主に立ち返りましょう。もしも、みこころにかなわないことがあったなら、「あわれんでください」と真剣に祈りましょう。そして、主のみこころを行うためのプランを、イエス様とともに立てていきましょう。

①神のみこころは？（信仰のあり方、希望の約束、愛の満たしなど）

②どんな思いになりましたか？（感情や願いなど）

③生き方にどう適用しますか？（あなたのどの部分を主は扱おうとしておられますか）

④この世にあって何を実践しますか？



## 27日 火曜

ヨエル

2:18 【主】はご自分の地をねたむほど愛し、ご自分の民を深くあわれまれました。

2:19 【主】は民に答えられた。「今、わたしは穀物と新しいぶどう酒と油をあなたがたに送る。あなたがたはそれで満ち足りる。わたしは二度とあなたがたを、国々の間でそりり的としません。

2:20 わたしは、北から来るものをあなたがたから遠ざけ、それを荒廃した砂漠の地へ追いやる。その前衛を東の海に、その後衛を西の海に。その悪臭は立ち上り、その腐った臭いは立ちこめる。主が大いなることを行ったからだ。」

2:21 地よ、恐れるな。楽しみ、喜べ。【主】が大いなることを行われたからだ。

2:22 野の獣たちよ、恐れるな。荒野の牧草が萌え出で、木が実を実らせ、いちじくとぶどうの木が豊かに実る。

2:23 シオンの子らよ。あなたがたの神、

【主】にあって、楽しみ喜べ。主は、義のわざとして、初めの雨を与え、かつてのように、あなたがたに大雨を降らせ、初めの雨と後の雨を降らせてくださる。

2:24 打ち場は穀物で満ち、石がめは新しいぶどう酒と油であふれる。

2:25 「いなご、あるいは、バッタ、その若虫、噛みいなご、わたしがあなたがたの間に送った大軍勢が食い尽くした年々に対して、わたしはあなたがたに償う。

2:26 あなたがたは食べて満ち足り、あなたがたの神、【主】の名をほめたたえる。主があなたがたに不思議なことをするのだ。わたしの民は永遠に恥を見ることのない。



2:27 あなたがたは、イスラエルの真ん中にわたしがいることを知り、わたしがあなたがたの神、【主】であり、ほかにはいないことを知る。わたしの民は永遠に恥を見ることはない。

2:28 その後、わたしはすべての人にわたしの霊を注ぐ。あなたがたの息子や娘は預言し、老人は夢を見、青年は幻を見る。

2:29 その日わたしは、男奴隷にも女奴隷にも、わたしの霊を注ぐ。

2:30 わたしは天と地に、しるしを現れさせる。それは血と火と煙の柱。

2:31 【主】の大いなる恐るべき日が来る前に、太陽は闇に、月は血に変わる。

2:32 しかし、【主】の御名を呼び求める者はみな救われる。【主】が言ったように、シオンの山、エルサレムには逃れの者がいるからだ。生き残った者たちのうちに、

【主】が呼び出す者がいる。」

ヨエル書は神のさばきを主題とする預言の書です。ホセアのような徹底的な赦しをテーマとする書もありますが、このようにさばきが明確にされることによって、主の赦しのすばらしさと驚きが際立つのです。主のさばきの厳かさを知らない人は、赦しと救いの感謝も希薄になってしまいます。

ですから主への恐れをいつも忘れないようにしましょう。それと同時に主の赦しはもっと大きく、それは無限の愛によるのだということ、そして自分自身がその愛で愛されているということ、いつも感じていきましょう。

ここではさばきの後の赦しについて伝えて預言されています。さらにはその後の主の御計画についても述べられています。赦された私たちには主の祝福と尊い使命があるのです。自分自身の人生がこのような偉大な御計画の中にあることに、心躍らせながら、主の御計画を担って生きましょう。

①神のみこころは？（信仰のあり方、希望の約束、愛の満ちしなど）

②どんな思いになりましたか？（感情や願いなど）

③生き方にどう適用しますか？（あなたのどの部分を主は扱おうとしておられますか）

④この世にあって何を実践しますか？



## ➤ 28日 水曜

ヨエル



3:1 「見よ。わたしがユダとエルサレムを回復させるその日、その時、  
3:2 わたしはすべての国々を集め、彼らをヨシヤファテの谷に連れ下り、わたしの民、わたしのゆずりイスラエルのために、そこで彼らをさばく。彼らはわたしの民を国々の間に散らし、わたしの地を自分たちの間で分配したのだ。  
3:3 彼らはわたしの民をくじ引きにし、少年を渡して、遊女を得、少女を売って、酒を得て飲んだ。  
3:4 ツロとシドン、またペリシテの全地域よ。おまえたちは、わたしにとって何なのか。わたしに報復しようとするのか。もしわたしに報復しようとしているなら、わたしはただちに、速やかに、おまえたちへの報いをおまえたちの頭上に返す。  
3:5 わたしの銀と金をおまえたちが奪い、わたしのすばらしい財宝をおまえたちの神殿へ運び、  
3:6 ユダの人々とエルサレムの人々をギリシア人に売って、彼らの領土から遠く離れさせたからだ。  
3:7 見よ。わたしは、おまえたちが彼らを売ったその場所から彼らと呼び戻して、おまえたちへの報いをおまえたちの頭上に返し、  
3:8 おまえたちの息子、娘たちをユダの人々に売り渡す。彼らはこれを、遠くの異邦の民シエバ人に売る。——【主】は言われる。」  
3:9 「国々の間で、こう叫べ。聖戦を布告せよ。勇士たちを奮い立たせよ。すべての戦士たちを集めて上らせよ。  
3:10 あなたがたの鋤を剣に、あなたがたの鎌

を槍に打ち直せ。弱い者に『私は勇士だ』と言わせよ。

3:11 周りのすべての国々よ。急いで来て、そこに集まれ。——【主】よ、あなたの勇士たちを下らせてください——

3:12 諸国の民は立ち上がり、ヨシヤファテの谷に上って来い。わたしがそこで、周辺のすべての国々をさばくために、座に着くからだ。」

3:13 鎌を入れよ。刈り入れの機は熟した。来て、踏め。踏み場は満ちた。石がめはあふれている。彼らの悪がひどいから。

ツロ、シドン、ペリシテなど、イスラエルを蹂躪した国々へのさばきが預言されています。このように主はイスラエルへの特別な関わりとともに、普遍的な正義をも両立なさる全能の神です。

ですから私たちもまた主への信仰を全うするとともに、普遍的な愛を全ての人に与えるべきです。またそれは同時に、私たちを守る主のみわざが行われることも意味します。主の義と愛の中を歩みましょう。

そのような主の権能が表わされる時、そこには決して後戻りできない時代の緊張感があります。まさに主の聖戦のように、決戦が始まるのです。私たちも主の時を敏感に感じ取って、将来を左右するような信仰の戦い(チャレンジ)に参加しましょう。

①神のみこころは？(信仰のあり方、希望の約束、愛の満ちしなど)

②どんな思いになりましたか？(感情や願いなど)

③生き方にどう適用しますか？(あなたのどの部分を主は扱おうとしておられますか)

④この世にあつて何を実践しますか？



## ➤ 29日 木曜

ヨエル



3:14 判決の谷には、群衆また群衆。【主】の日が判決の谷に近づくからだ。  
3:15 太陽も月も暗くなり、星もその輝きを失う。  
3:16 【主】はシオンからほえ、エルサレムから声をあげられる。天も地も震える。【主】はその民の避け所、イスラエルの人々の砦である。  
3:17 「あなたがたは知るようになる。あなたがたの神、【主】であるこのわたしが、わが聖なる山、シオンに住むことを。エルサレムは聖なる所となり、他国人が再びそこを通ることはない。  
3:18 その日には、山に甘いぶどう酒が滴り、丘には乳が流れ、ユダの谷川のすべてに水が流れ、泉が【主】の宮から湧き出て、シティムの溪流を潤す。  
3:19 エジプトは荒れ果てた地となり、エドムは荒れ果てた荒野となる。彼らの、ユダの人々への暴虐のためだ。彼らはその地で、咎なき者の血を流した。  
3:20 しかし、ユダは永遠に、エルサレムは代々にわたって人の住む所となる。  
3:21 わたしは彼らの血の復讐をし、罰せずにはおかない。【主】はシオンに住む。」

宇宙レベルでの異変が記されていますから、これは終末的な意味もあると理解されます。「天も地も震える」ようなことがあっても、主は私たちに「あなたがたの神」であると言ってくださり、「避け所」「とりで」となってくださいます。安心して主への信頼の中を歩みましょう。

主の民を見下して横暴を行った、あの強国エジプトも主の前には「荒れ果てた地」となってしまいます。主はその義によって「罰しないではおかない」のです。

一方主の民は、その不信仰の罪ゆえに主から懲らしめを受けながらも、主に立ち帰ることで、主は「シオンに住む」すなわち共にいて守り導いてくださると約束してください。

主からの凝らしめを信仰のチャンスとして、主にさらに近づき、大きな祝福をいただくものでありましょう。

①神のみこころは？（信仰のあり方、希望の約束、愛の満ちしなど）

②どんな思いになりましたか？（感情や願いなど）

③生き方にどう適用しますか？（あなたのどの部分を主は扱おうとしておられますか）

④この世にあって何を実践しますか？



## 1日 金曜

### 詩篇

<42> 第二巻指揮者のために。コラ人のマスキル。

42:1 鹿が谷川の流れを慕いあえぐように神よ私のたましいはあなたを慕いあえぎます。  
42:2 私のたましいは神を生ける神を求めて湧いています。いつになれば私は行って神の御前に出られるのでしょうか。

42:3 昼も夜も私の涙が私の食べ物でした。「おまえの神はどこにいるのか」と人が絶えず私に言う間。

42:4 私は自分のうちで思い起こし私のたましいを注ぎ出しています。私が祭りを祝う群衆とともに喜びと感謝の声をあげてあの群れと一緒に神の家へとゆっくり歩んで行ったことなどを。

42:5 わがたましいよなぜおまえはうなだれているのか。私のうちで思い乱れているのか。神を待ち望め。私はなおも神をほめたたえる。御顔の救いを。

42:6 私の神よ私のたましいは私のうちでうなだれています。それゆえ私はヨルダンとヘルモンの地からまたミツアルの山からあなたを思い起こします。

42:7 あなたの大潮のとどろきに淵が淵を呼び起こしあなたの波あなたの大波はみな私の上を越えて行きました。

42:8 昼には【主】が恵みを下さり夜には主の歌が私とともにあります。私のいのちなる神への祈りが。

42:9 私はわが巖なる神に申し上げます。「なぜあなたは私をお忘れになったのですか。なぜ私は敵の虐げに嘆いて歩き回るので



か。」

42:10 私に敵対する者たちは私の骨を砕くほどに私をそしり絶えず私に言っています。

「おまえの神はどこにいるのか」と。

42:11 わがたましいよなぜおまえはうなだれているのか。なぜ私のうちで思い乱れているのか。神を待ち望め。私はなおも神をほめたたえる。私の救い私の神を。

これは捕囚の地で、かつての都エルサレムを慕って歌われたものです。「鹿が...慕いあえぐ」とありますが、これは信仰の姿を表しています。私たちはあえぐようなことを望んではいませんが、誰にでもそういう時があります。そのような苦しいときや悲しいときに、何を求めるかが大切です。主を求めて慕いあえぐ者でありましょう。それこそが本当の解決です。

サタンは周囲のノンクリスチャンを用いて、「おまえに神はどこにいるか」と、信仰に疑いを起こすようにしむけますが、それはサタンの常套手段であって、惑わされないようにしましょう。むしろ「喜びと感謝」のときを「思い起こし」しましょう。そして「神を待ち望み」みましょう。

①神のみこころは？（信仰のあり方、希望の約束、愛の満ちしなど）

②どんな思いになりましたか？（感情や願いなど）

③生き方にどう適用しますか？（あなたのどの部分を主は扱おうとしておられますか）

④この世にあつて何を実践しますか？



## ➤ 2日 土曜

### 詩篇



43:1 神よ私のためにさばいてください。私の訴えを取り上げ不敬虔な民の言い分を退けてください。欺きと不正の人から私を助け出してください。

43:2 あなたは私の力の神であられるからです。なぜあなたは私を退けられたのですか。なぜ私は敵の虐げに嘆いて歩き回るのですか。

43:3 どうかあなたの光とまことを送り彼らが私を導くようにしてください。あなたの聖なる山あなたの住まいへと彼らが私を連れて行きますように。

43:4 こうして私は神の祭壇に私の最も喜びとする神のみもとに行き豎琴に合わせてあなたをほめたたえます。神よ私の神よ。

43:5 わがたましいよなぜおまえはうなだれているのか。なぜ私のうちで思い乱れているのか。神を待ち望め。私はなおも神をほめたたえる。私の救い私の神を。

詩人は苦しみの中で神に求めています。それは単に救ってくださいというだけではなく、神様の正義のさばきを求めています。そのように神様の義が自分に味方してくださるのだという確信は、強い信仰を生み出します。もちろん憐みを求めることもできますが、日々の歩みの中で正しく生きるなら、そのように義を求めて力強い求めができるのです。

それは単に個人の救いだけではなく、主の正義がこの世にもたらせれるという、すばらしいみわざを求めているのです。その結果、「こうして…ほめたたえましょう」と、その信仰が引き上げられるのです。絶望したままでは何も生まれません。主を見上げるときに希望が生まれます。またこのように苦しみがあるからこそ、私たちのような信仰の弱い者が主に向くことができるということもできます。

①神のみこころは？（信仰のあり方、希望の約束、愛の満ちしなど）

②どんな思いになりましたか？（感情や願いなど）

③生き方にどう適用しますか？（あなたのどの部分を主は扱おうとしておられますか）

④この世にあつて何を実践しますか？



## 3日 日曜

### 詩篇



<44> 指揮者のために。コラ人による。マスキール。

44:1 神よ私たちはこの耳で聞きました。先祖たちが語ってくれました。あなたが彼らの時代昔になさったみわぎを。

44:2 あなたは御手をもって異邦の民を追い払いそこに先祖たちを植えられました。もろもろの国民にわざわざを下しそこに先祖たちを送り込まれました。

44:3 自分の剣によって彼らは地を得たのではなく自分の腕が彼らを救ったのでもありません。ただあなたの右の手あなたの御腕あなたの御顔の光がそうしたのです。あなたが彼ら愛されたからです。

44:4 神よあなたこそ私の王です。ヤコブの勝利を命じてください。

44:5 あなたによって私たちは敵を押し返し御名によって向かい立つ子どもを踏みつけます。

44:6 私の弓に私は頼りません。私の剣も私を救いません。

44:7 しかしあなたは私たちを敵から救い私たちを憎む子どもを辱められます。

44:8 神にあつて私たちはいつも誇ります。あなたの御名をとこしえにほめたたえます。セラ

苦しみの中で主の解決を求めています。その拠り所は何でしょうか。それは「先祖たち」に恵と解決をくださった主であるということです。その主に信頼しようとしています。

このように過去の証しや主のみわぎを知ること、また思い起こすことは大切です。日々主に感謝できる人は、苦難にも強いのです。

また共同体に働かれた主のみわぎはみな財産です。みなで感謝するなら、私たちの信仰は益々強められます。ですから主への感謝をささげつつ、そのみわぎを証しをしましょう。1人の内にとどめておくことは御心ではありません。

①神のみこころは？（信仰のあり方、希望の約束、愛の満たしなど）

②どんな思いになりましたか？（感情や願いなど）

③生き方にどう適用しますか？（あなたのどの部分を主は扱おうとしておられますか）

④この世にあつて何を実践しますか？

